

2016.9 清心児童/予想問題 2

コンピューターが人間のように考える機能を持つ「人工知能」(AI)。AI の開発進化は、教育と無関係ではない。AI を教育にどのように活用することができるだろうか。また、人間にしかできない教育というものはあるのだろうか。あなたの見解を600字以内で述べよ。

人工知能 (AI) が教育現場で活用され始めている。

例えば、英語の学習。AI でその人がミスする傾向の強い英単語やフレーズを分析して繰り返し出題したり、個人のレベルごとに難易度を変える学習支援サービスが登場している。また、数学では、生徒が画面に手書きされた思考過程や要した時間を AI が蓄積し、得意不得意を解析して苦手な分野の克服につながる問題群を瞬時にプログラムして出すというサービスも現れている。

私はさらに AI がバーチャル体験型の学習にも活用できると推測する。学習していると、歴史上の出来事や化学の原子や分子の世界など現実にイメージしにくい場面がある。AI を使って生徒が歴史的な事件の現場や化学反応が起きている現場に立ち会えば、興味湧き、理解が深まるだろう。

ただ、私は AI が万能だとも思わない。確かに、教育に活用できるツールであることは間違いない。しかし、人間の感情や心の問題は、AI の解析では及びもつかない深さを持っていると考えるからだ。

例えば、「人生万事塞翁が馬」という故事成語は、一見よくないと思えることが人生では必ずしも悪い結果につながらないことを示している。人は生死のある存在で、それに由来する感情や考え方を生死のない AI が解き明かすことは難しいだろう。生徒の感情や悩みは正解が存在せず、AI には適さない分野なのだと考える。

AI を上手に活用しながら、生身の人間が個々の生徒に寄り添って成長を見守る教育がいま求められている。